

事業番号	06 01 01	事業改善シート（令和元年度実施事業分）	当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	環境保全活動等推進事業費		部局	環境部	課・室	環境政策課
			実施期間	H7 ~	E-mail	kankyo@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標						
総合的に展開する重点政策	1-4 生涯を通じて学べる環境の整備 4-5 地球環境への貢献					





1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】 長野県環境保全協会等が行った県民意識調査（2018年（H30年）6月実施）によると、環境のためになること（環境に配慮した暮らし）を実行している県民の割合は、調査を開始した2009年（H21年）と比較して8.4ポイント減少。また、30代以下の若年層では、「実行している」人の割合は5割に留まり、他の年代と比較して低い傾向にある。
	【目指す姿】 県民・NPO、事業者等のあらゆる主体のパートナーシップによる環境保全活動や環境教育を推進し、県民の環境保全に対する意識を向上させる。
	【実施内容】 ・環境審議会等の運営 ・信州環境フェア、信州豊かな環境づくり県民会議への負担金 ・信州環境カレッジの運営

指標及びその達成状況 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし]						事業 コスト	区分(単位:千円)	H30年度	R1年度	
No	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値		達成状況	前年度繰越	0	0
								1	「環境のためになること（環境に配慮した暮らし）」を実行している人の割合	65.5
2								合計(A)	42,867	64,541
3								うち一般財源	24,550	38,114
4								決算額(B)	40,360	61,899
							職員数(人)	6.0	6.0	

成果指標設定理由	1 県民の環境保全意識が把握できる指標であるため ※目標値：過去H23～H28年度の平均値
----------	--

達成状況の分析	第四次長野県環境基本計画の達成目標にも掲げている「環境のためになることを実行している人の割合」は、昨年度より0.5ポイント減という結果になり、目標は達成できなかった。この割合は、高齢層ほど高くなる傾向があり、70歳以上が89%に対し、18歳～20代は56.7%と開きがあるため、若者に対する環境保全に対する関心を高めるための機会や施策が必要であると考えられる。
---------	--

主な取組	✓ 県民参加による環境保全の取組を推進 ・信州環境カレッジの運営 地域講座登録数：229講座、受講者延べ8,185人 学校講座登録数：45講座、受講者延べ3,562人 ・体験と学びの環境博～信州環境フェア2019～の開催 実行委員会への参画 入場者数：6,197人	 地域講座の様子	 信州環境フェア2019
	✓ G20関係閣僚会合開催支援や本県の政策や魅力を発信 ・地元主催歓迎夕食会などにおける県産食材、伝統芸術など本県の魅力を発信 ・会合開催に合わせ、本県とイクレイ日本とともに「持続可能な社会づくりのための協働に関する長野宣言」をとりまとめ、環境大臣へ手交	 セッションの様子	 「長野宣言」を手交

2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	・若者に対して環境の保全に対する関心を高めるための機会や情報等が十分でない。	「信州環境カレッジ」に新たにWeb講座を開設するとともに、情報発信にSNSを活用するなど、若者にも環境教育を受講しやすい環境づくりを進める。

事業名	環境保全活動等推進事業費	部局	環境部	課・室	環境政策課
-----	--------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
1	環境保全活動等推進事業費	24,439 千円	34,367 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	環境審議会、専門委員会の運営	直接	長野県内における環境の保全に関する基本的事項等の調査審議を目的として、学識経験者等で構成される審議会を設置 【環境審議会の開催4回、専門委員会の開催15回】
2	信州環境カレッジ事業	委託	県民の環境保全に対する意識を高めるとともに、将来の環境保全を担う人材育成を図るため、信州の豊かな自然環境をフィールドに環境教育を県内全域で統一的に実施 【延べ受講者数11,747人】
3	信州環境フェア実行委員会負担金	負担金	県民・NPO・事業者・行政が、お互いの理解と協力のもと、持続可能な社会を構築する契機とするため開催する信州環境フェアの実行委員会への負担金 【7/27(土)28(日) 長野市ビッグハット 出展規模：50団体 入場者数：6,197人】
4	信州豊かな環境づくり県民会議負担金	負担金	県民が環境保全活動に取り組む契機となる事業を実施し、持続可能な社会の構築に向けた県民総参加の運動を展開する県民会議への負担金 【環境保全に関するポスター応募数1,420作品、標語応募数339作品】

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
2	G20関係閣僚会合推進事業費	15,921 千円	27,532 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	G20関係閣僚会合長野県推進協議会負担金	負担金	本県の環境エネルギー施策や魅力を国内外に発信し、会合開催を契機に関連施策の推進を図るための協議会への負担金 【地元主催エクスカージョンの実施、伝統工芸品等の記念品贈呈など】
2	G20関係閣僚会合推進事業	直接	庁内推進体制の整備、関係省庁や軽井沢町、関係機関との連絡調整等を実施